



# 珠玉

〒007-0868

札幌市東区伏古8条1丁目1番28号

TEL 781-2221 FAX 783-8062

<http://www.sapporo-j.sapporo-c.ed.jp/>

## 第73回卒業式「式辞」



校長 内潟 幸彦

例年になく暖かな冬。積雪も少なく、札幌中学校の周りでも、すぐそこに春の訪れを感じることができるようになりました。第七十三回卒業式は、いつもの年に倣い準備をしてきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、PTA役員の皆様、学校評議員の皆様、小学校の先生方、地域の皆様、保護者の皆様のご臨席をご遠慮いただき、卒業生のみなさんとPTA会長様、教職員だけの参加となりました。いま置かれた状況の中、教職員が一丸となり、できる限りの卒業式を準備しました。今日ここに、卒業式を挙行できることに、ほんの少しの安堵、そして、感謝と大きな喜びを感じています。

ただ今、百七十一名の卒業生一人一人に卒業証書を手渡しました。中学校の卒業、そして義務教育の修了という大きな節目を迎え、未来に向かって一步踏み出す第七十三回卒業生に、心からお祝い申し上げます。卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さんはこの三年間、学習はもちろん、学校行事や生徒会活動、部活動など、さまざまな場面で素晴らしい成果を挙げ、札幌中学校の歴史に新たな一ページを書き加えてくれました。とりわけ今年の合唱コンクールでは、インフルエンザによる二度にわたる日程変更を乗り越え、一、二年生のお手本となる、心の底に響く素晴らしい合唱を披露してくれました。いつも一生懸命に努力する姿に対して、心からの賛辞を贈りたいと思います。素晴らしい合唱をありがとうございました。

さて、中学校卒業にあたり、私から皆さんに二つのことを伝えたいと思います。

一つ目は、「生きること」についてです。「生き抜く力」を備えた人になってほしいということです。あなたは、四月から人生で初めて、自分で決めた道に進み、新たな一步を踏み出し、夢に向かって努力すること、なりたい自分を探し求めることに一生懸命になるはずですが。そんなあなたには、「不撓不屈の生きる力」をもって前に進んでほしいと願うばかりです。同時に、厳しい言い方になるかもしれませんが、いつも夢が叶ったり、なりたい自分に辿り着けるとも限らないという覚悟を決めておかなければなりません。時として、夢に破れたり、目標まで辿り着けないことが、おそらく何度もあるはずです。

私が皆さんに伝えたいのは、夢に向かって頑張っていく力もさることながら、夢に破れたときに、辛い気持ちや悔しい気持ちを乗り越え、また、心に夢や目標を掲げて一步踏み出していく「生き抜く力」を身に付けてほしいということです。この「生き抜く力」を身に付けるのに、何よりも大切なのは日常の積み重ねです。

是非とも、これからの人生において、「生き抜く力」を備えた心身ともに逞しい人になってください。

「生き抜く力」を身に備えて、夢を叶えるために、なりたい自分に辿り着くために、あなたに与えられた制限時間は、あなたのこれからの人生全てです。与えられた人生の全ての時間の中で、正解のない問いの答えを求め続けることから逃げ出さずに前に進んでいってください。

二つ目は、「しあわせをねがう」ということについてです。皆さんに「しあわせをねがう人」になってほしいと思っています。以前にもお話ししたことですが、しあわせをねがうというのは、何かしてあげようとか、喜んでもらおうと意識し過ぎたり、頑張りすぎたりすることではなく、ましてや人に要求するものではありません。普段の自分が、普段通りの生活の中で、ほんの少し、隣にいる人に、あなたのことが気になっているよとか、あなたのことを見守っているよという気持ちで、できることを行動に移すという、さりげない積み重ねなのです。皆さんには、これからの人生においても、この積み重ねを続け、しあわせをねがう人になってほしいと願うばかりです。さらに言うなら、与えられる人から、与える人になっていってください。

また、おそらく、皆さんは三年間で、この先の人生で出会う人と分かち合えないくらいの友情や秘密を、今日、一緒に卒業する友と共有したのではないのでしょうか。

しかし、そんな友と気まぐらくなって、「ごめんね」の一言を交わしていない心残りはありませんか。もしあるとしたら、今日校舎をあとにする前に、「ごめんね」の一言を友に差し出してください。この一言が、まだ言えそうにない人は、友に向かって、にっこり笑って「ありがとう」と伝えてください。一秒にも満たない、そのひと言が、人のしあわせをねがうことになります。

本日、ここにご臨席いただいておりますが、保護者の皆様、本当におめでとうございます。中学校三年間は、人生の中で、最も心と体が変化する時です。この時を保護者の皆様をはじめ、多くの方々の支えによって、無事に乗り切ることができました。子どもたちは、これから、自分で選んだ新たな道を進んでいきます。この先も身近な大人として、温かく見守り、人生の先輩として子どもたちの支えになることをお願いいたします。

三年生の皆さん。札幌中学校の卒業生であるという誇りとともに、「生き抜く力」と「しあわせをねがう心」を持って、日々邁進していくことを心から祈り、第七十三回卒業式の式辞といたします。

旅立ちの日に 万感の思いを込めて